

漁港区域内駐車場の指定管理者の選考結果について

漁港区域内駐車場の指定管理者の公募を行った結果、2団体から応募があり、漁港区域内駐車場指定管理者選考委員会での審査を経て、次のとおり指定管理者を選考しました。

1 施設の概要

指定管理者による管理対象施設は、既設の北下浦海岸通り駐車場等とし、これらの施設の管理運営を一括して行います。

名称	北下浦海岸通り駐車場	北下浦海岸通り臨時駐車場
所在地	野比2丁目194番9	野比2丁目200番地先
開設年月日	平成13年4月1日	
敷地面積	807 m ²	1,120 m ²
駐車マス数	34台	28台
付帯施設	管理棟、案内看板、入出場車止め	

2 指定管理者が行う業務

- (1) 北下浦海岸通り駐車場等の使用の許可に関する事。
- (2) 北下浦海岸通り駐車場等の施設及び設備の維持管理に関する事。
- (3) 北下浦海岸通り駐車場等の利用料金の収納に関する事。
- (4) 北下浦海岸通り駐車場等の利用率向上への取り組みに関する事。
- (5) その他市長が定める業務

3 施設の管理運営経費

対象施設では、利用料金制（独立採算）を採用しているため、管理運営に係る経費は、全額利用料金収入によって賄うものとします。

4 公募から選考までの事務手続き

指定管理者を指定しようとするときは、「横須賀市漁港管理条例」第6条の4において公募により行うこととなっていますので、次のように事務手続きを進めました。

選考委員会設置	令和5年4月1日
公募の周知	令和5年6月26日付 横須賀市公告第129号 令和5年7月1日発行「広報よこすか」に掲載 令和5年7月3日から「横須賀市ホームページ」に掲載
募集要項配布	令和5年7月3日～8月23日
説明会実施	令和5年7月18日 参加団体数3団体 当該施設現地において、申請書類、業務及び建物の仕様等について説明を行いました。
申請受付	令和5年8月16日～8月23日 期間中の申請 2団体
選考委員会開催	令和5年6月21日（第1回 募集要項等の内容決定） 令和5年10月11日（第2回 公開プレゼンテーション実施） 令和5年10月27日（第3回 選考団体の決定）

5 申請団体

申請のあった2団体の概要については次のとおりです。

No.	1		2
団体名	野比海岸ジハンゲンチーム		株式会社H2スポーツ クリエイション
	株式会社ブルー スカイ	株式会社エンジ ョイワークス	
所在地	福岡県福岡市	鎌倉市	横須賀市
団体の形態	株式会社	株式会社	株式会社
代表者	代表取締役 貞末 真吾	代表取締役 福田 和則	代表取締役 原 良一
資本金	17 百万円	18.04 百万円	3 百万円
従業員数	28 人	71 人	1 人
団体の設立年月	平成 23 年 7 月	平成 19 年 11 月	平成 28 年 6 月
業種(主な業務内容)	雑貨等の企画、製造、販売・イベント等企画、立案及び実施・各種セールスプロモーション、コンサルティング業務等	不動産の管理運営・投資事業に関する運営、管理及びコンサルティング・コンテンツ、ウェブサービスの企画、管理、コンサルティング等	ウォータースポーツ、アクティビティに関する企画、運営、管理及び実施・ウォータースポーツ、アクティビティに関する販売及びスクールなどの運営等

同種又は類似 施設の管理運営 実績	実績あり (類似施設の 運営)	実績なし	実績なし
-------------------------	-----------------------	------	------

6 指定管理者の選考

(1) 選考方法

申請団体の審査選考にあたっては、外部委員3名及び内部委員2名の次の5名からなる選考委員会を設置し、選考委員が申請団体の提出書類及び公開プレゼンテーション結果に基づいて審査を実施しました。

申請団体の評価を行い、基礎項目評価点及び各選考委員の評価点を合計し、最も評価点の高い団体を指定管理者として選考しました。

なお、申請団体のうち1者については、申請資格の資格事項を満たしていなかったため、選考対象外となりました。

区分	氏名	役職・所属
委員長	永 塚 保 義	志も町内会 会長
委員	久保木 忠 義	北下浦観光協会 監事
委員	石 井 光 一	横須賀市東部漁業協同組合 北下浦総代
委員	若麻績 順 哉	経営企画部企画調整課長
委員	千 葉 寿	港湾部港湾管理課長

(2) 評価基準及び配点

審査にあたっては、「横須賀市漁港管理条例」第6条の6に定める基準をもとに、次の評価項目及びその配点を設定し評価を行いました。

評価項目	配点
基礎項目評価	120点
提案評価	1,000点

(1)	法令順守	50点 (10点×5名)
(2)	施設管理	50点 (10点×5名)
(3)	利用者への配慮	50点 (10点×5名)
(4)	リスクへの対応	50点 (10点×5名)
(5)	障害者及び男女共同参画への配慮	50点 (10点×5名)
(6)	地域貢献	50点 (10点×5名)
(7)	人員体制	50点 (10点×5名)
(8)	管理運営能力	100点 (20点×5名)
(9)	地域共生	100点 (20点×5名)
(10)	利用率の向上	150点 (30点×5名)
(11)	環境施設の活用	150点 (30点×5名)
(12)	「海洋都市横須賀」を発信する取組み	150点 (30点×5名)
合 計		1,120点

合計 1,120点 (120点+200点×選考委員5名)

※参考

「横須賀市漁港管理条例」第6条の6（指定管理者の指定）の基準

- (1) 利用者の平等な利用が確保されること。
- (2) 事業計画書の内容が施設の適切な維持及び管理を行うとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理及び業務を安定して行う物理的能力及び人的能力を有していること。

7 選考団体

福岡県中央区今泉2丁目5番24号
共同事業体 野比海岸ジハンゲンチーム
代表者 株式会社ブルースカイ
代表取締役 貞末 真吾

8 選考理由

申請資格を満たした団体の評価を行い、基礎項目評価点及び各選考委員の評価点を合計した結果、評価点が最低基準点を満たした下記の団体を指定管理者として選考しました。

なお、選考委員会による申請団体の評価の結果概要は別紙「指定管理者選考結果内訳」のとおりです。

9 指定期間

令和6年（2024年）4月1日から令和11年（2029年）3月31日まで

10 債務負担行為（収支計画）

債務負担行為額	全額利用料金制のため債務負担行為額はありません。
---------	--------------------------

(参考)

①収支計画

収入

(単位：千円)

項目	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	計
指定管理料	0	0	0	0	0	0
利用料金収入	17,771	22,000	22,000	22,000	22,000	105,771
その他収入	0	0	0	0	0	0
計	17,771	22,000	22,000	22,000	22,000	105,771

支出

(単位：千円)

項目	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	計
人件費	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000
事務費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
委託費	9,141.6	9,141.6	9,141.6	9,141.6	9,141.6	45,708
その他経費	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540	27,700
計	16,881.6	16,881.6	16,881.6	16,881.6	16,881.6	84,408

指定管理者選考結果内訳(漁港区域内駐車場)

別紙

1 結果概要(得点/満点(得点率))

順位	1
団体名	野比海岸ジハンゲンチーム
基礎項目評価	62.5/120(52%)
提案評価	720/1,000(72%)
合計	782.5/1,120(70%)

2 評価内訳

【1位】野比海岸ジハンゲンチーム

管理経費提案総額 84,408 千円 (消費税額及び地方消費税額が加算されます。)※

評価項目	得点/満点 (得点率)	選考委員会における主な意見
基礎項目評価	62.5/120 (52%)	
提案評価	720/1,000 (72%)	
(1)法令遵守	45/50 (90%)	・構成団体として公共事業の実績があり、一定の法令順守は問題なく行われると考えられる。 ・わかりやすい報告書の作成に努めるなど、適正な運用が見込まれる提案だった。
(2)施設管理	35/50 (70%)	・トラブル対応について、指定管理者だけでなく、連携事業者も含め、迅速な対応が可能な事業提案あり、評価できる。
(3)利用者への配慮	30/50 (60%)	・夜間営業による懸念があるが、カメラの設置や緊急時の対応も考えている提案であった。 ・利用者の声をネットなどで意見を受ける提案があり評価できる。ただ、それ以外の方法も検討するとさらに良い。
(4)リスクへの対応	25/50 (50%)	・災害対応は市と相談して対応するなど、連携してリスクに備える姿勢が感じられた。 ・自然災害に対するリスクの提案が不十分に感じられたため、今後対応を期待する。
(5)障害者及び男女共同参画への配慮	25/50 (50%)	・市の福祉部門に本事業に協力、連携できる団体等の照会をかけ、事業に取り組む姿勢は評価できる。 ・施設の特性上、障がい者の直接雇用は困難だが、配慮に向けた取り組みを検討する姿勢は評価できる。
(6)地域貢献	40/50 (80%)	・地域に根差した提案なので、非常に評価できる。 ・地元観光協会等と共存して事業を行うことも考えられていたので評価できる。

(7) 人員体制	30/50 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> ・構成団体の職員に、金融関係に努めていた方が多くおり、ファンド形成の面は安定感があり、評価できる。 ・人員体制や人材育成について、もう少し詳細の説明が欲しかった。
(8) 管理運営能力	60/100 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの問題などは市と連携しながら対応するなど前向きな姿勢があり、評価できた。 ・市民の方に参加してもらい取り組みは画期的な考え方であり、期待したい。
(9) 地域共生	85/100 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベント等へ協力する姿勢が見られたのは評価できる。 ・地域共生はぜひ進めていきたいという発言があったので、期待したい。
(10) 利用率の向上	120/150 (80%)	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS 等での発信については、大きく期待できる。 ・提案の取り組み内容は良いものであり、評価できる。もう少しリピーターがつくような工夫の提案が欲しかった。
(11) 環境施設の活用	120/150 (80%)	<ul style="list-style-type: none"> ・提案があった環境施設の活用方法は、今まで発想がなかった提案であり、市内外からの利用増が期待できる非常に良い提案である。 ・感度の高い取り組みで若い層の集客を図り、この土地のポテンシャルを大きく生かした提案であった。
(12) 「海洋都市横須賀」を発信する取り組み	105/150 (70%)	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS を通じて、横須賀の良さを発信することはとても良いことだと思う。 ・最近マリンスポーツやドラマのロケ地として海岸が使用されているなど、横須賀の自然のすばらしさをさらに発信してもらえと思う。
合 計	782.5/1120 (70%)	

※ 利用料金制（独立採算）を採用し、指定管理料が発生しないため、施設管理運営に要する費用として提案された額を記載